

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

開催日時	令和元年 10 月 2 日（水） 13:30-15:30	開催場所	本校会議室
出席委員	<p>人数：7人 委員氏名（役職）</p> <p>草原 和博（広島大学大学院教育学研究科，本協議会会長） 西村 里史（札幌開成中等教育学校主幹教諭） 改発 祐一郎（東京都立国際高等学校市民講師） 高田 幸典（大崎上島町長）代理 小川 裕壮（大崎上島商工会会頭） 野島 忠輔（PTA 会長） 林 史（学校長）</p> <p>※副会長の坪谷氏は欠席。</p>		
会議の概要	<p>○開会の挨拶及び本校からの説明 会長及び学校長から開会挨拶の後，本校から IB の認定状況の報告及び学校経営計画中間評価に関する説明を各分掌主任等から行った。各委員から次のような指摘があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対して実施した IB の学習者像に関する自己評価アンケートについて，相互評価ではないため，客観性に欠けるのではないか。 ・結果だけでなく，プロセスを評価してもよいのではないか。 ・IB はフィードバックが重要。担任の学級経営という観点を重視するのではなく，学校全体で生徒を見ること，生徒と教員のつながりが大切なのではないか。 ・評価の中で A 評価が一つもないことが気になる。一方で C 評価も多い。厳しく評価していると思うが，どこに力を入れたのかわからない。もう少しで A になるものや B になるものもあるはず。目標の重点化を行うべきである。生徒の学校満足度の割合が低い。きちんと自己分析が必要。 <p>学校として，生徒の力を伸ばすためにどのような取組を行っていくのか，評価のための取り組みとならないように，評価項目を見直ししながら下半期の取組を行っていききたい。</p> <p>○授業参観 委員が社会と理科の授業を参観し，実際の生徒の様子を確認した。</p> <p>○協議，意見交換 第1回学校運営協議会での意見を踏まえての，本校の取組の報告を行った。各委員からは次のような意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に積極的に誘っていただけるのは保護者としてもありがたい。 ・島親は生徒一人に対し1世帯と考えると相当の人数になる。なり手を増やすためにも地域との交流事業を積極的に推進した方がよい。 ・授業公開を行う際には，見るだけではなく，実際に授業を体験するような形をぜひ考えてほしい。 ・キャリア教育の一環として，保護者に自身の職業について講演を行ってもらえるような機会があってもよいのではないか。 <p>島親については，どのような内容で実施していくかについて，地元の方とのより一層の協議が必要である。難しい課題ではあるが，引き続き働きかけていきたいと思う。</p> <p>現在は，生徒が帰省する際には，貸し切りバスを運行し，学校と港を移動できるようにしたほか，この夏からは公用車を配備し，校外での活動の際にも生徒の移動に活用している。</p>		
次回開催予定日	令和元年2月中旬		